

学校通信



喜多見



No.8 令和7年12月24日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

本当の楽しさ

校長 紺谷 祥一

間もなく、長かった2学期が終わろうとしています。中学生の生活は、日々の授業にはじまり、放課後の部活動や係・委員会活動、学校行事、人間関係等々、多くの出来事に満ちています。その中で多感な子どもたちは、「楽しかった」「うまくいった」「悔しかった」「残念だった」と、さまざまな気持ちを抱きながら毎日を過ごしています。目に見える成果や結果に喜ぶことであれば、思うようにならず落ち込むこともあるでしょう。今年度の本校は4月より“**自己実現の達成**～壁を越えて～”を合言葉に教育活動を展開しています。学校が大切にしたいのは、子どもたちのそうした日々の経験を通して育まれる「本当の楽しさ」です。それは、簡単に手に入る喜びではなく、努力を重ね、失敗や葛藤、試行錯誤などを経験しながら、少しずつ前に進んだときに感じる充実感です。中学校時代に味わうこの経験は、将来、もっと大きな困難に直面したときに自分を支える力となり得ると思っています。この点において、今学期の子どもたちの成長は非常に目覚ましく、いずれの学年も確かな手応えと成果を捉えていると感じます。下の囲み記事は、リーダーである生徒会本部役員たちの所信表明の様子です。「本当の楽しさ」に気づき始めた子どもたちを応援できるのは、中学校の教職員冥利に一層尽きる思いであり、とてもワクワクするところです。

学校では、先ず子どもたちが安心して挑戦できる環境づくりに努めています。そして、時間の経過とともに現れる結果だけでなく、そのプロセスやそれまでの姿勢に目を向ける指導を心がけるよう、教職員には日ごろから呼びかけています。しかし、子どもたちの成長をより確かなものにするためには、家庭での関わりも欠かせません。それは先月号でも話題とした、ボランティア活動をするお子さんの背中を押していただきたいのと同様です。各ご家庭においては、ぜひ「できたかどうか」だけではなく、具体的に「どんなことを頑張ったのか」や、目標達成に向けて「どんな工夫をしたのか」といった過程に目を向けた声かけをしていただければと思います。仮にうまくいかなかったときには、すぐに答えを示すのではなく、子どもの気持ちに寄り添いながら話を聞いていただくことで、子どもたちは安心して次の一步を踏み出すことができると感じます。

学校と家庭、そして地域が同じ方向を向き、子どもたちの挑戦や努力をしっかりと認め、支えていくことが子どもたちにとっての安心につながり、大きな励みになります。本校では今後も、一人一人が自分の成長を実感し、「本当の楽しさ」を感じられる学校づくりを進めます。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

第45期 生徒会本部 スローガンは、“**共に創ろう～本当の楽しさ～**”

10月20日の生徒会朝礼で、新生徒会長の藤山 淳斗さん（2A）から、新スローガンが発表されました。

『今年度の生徒会の合言葉は“共に創ろう～本当の楽しさ～”です。これには、学校という場において本当に楽しいことは何かを考え、学校の中での楽しさを皆で追求していくこう、という生徒会本部の思いを込めています。

“共に”という言葉には、生徒会本部が何かを示し、それを皆がやるというのではなく、本部役員も皆と一緒にって本当の楽しさを追求し、中からその雰囲気を広げていこう、という決意を込めました。さらに、生徒会本部の目標も決めました。今年度私たちは「笑顔の波を広げよう」という思いで活動していきます。私たち生徒会本部は、“本当の笑顔”は安心と信頼の上に成り立っていると考えます。そのため、先ず私たちが安心、信頼される存在となれるよう活動し、全校が笑顔で過ごせるようになるという決意があります。この生徒会本部と一緒に、より楽しい学校を創っていきましょう！これから一年間、よろしくお願いします。』

第45期 生徒会本部役員

生徒会長：藤山〇〇さん（2A） 役員：脇田〇〇さん（2B）

副会長：井川〇〇さん（2A） 役員：小泉〇〇さん（2B）

副会長：上杉〇〇さん（1A） 役員：生田〇〇さん（1A）



各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（加瀬義行）

今1年生は「食」に関する授業を行っています。先月末には企業による出前授業として、マルコメ株式会社の方を講師に味噌についての特別授業を行いました。授業では、味噌の様々な種類について学習しました。原料や製造工程にも様々な違いがあり、それらも地域によっていろいろな特徴があることを知りました。また、実際にそれらの味噌の実物を用意していただき、見た目、香りを感じた後、試食することで味の違いを体験することができました。

そして先日、大蔵大根の収穫を行いました。大根リーダーを中心に夏休み中から土づくりを始め、9月に入って種まき、寒冷紗敷き、間引き、虫取りと毎日の水やり、観察記録などを続けてきました。それらの努力の成果がとても大きな大根となりました。その大きな姿が土の中から現れた瞬間の感動は特別なものとなりました。収穫した大根を給食の食材としておいしくいただきました。



あと1年で自分たちの番か…

2年生の様子から（佐々木里香子）

2年生は職場体験のまとめを終え、1月に行われる校外学習に向けて準備を進めています。校外学習は、3年生で行われる修学旅行を見通した行事であり、自分たちで責任をもってルート決めを行うなど「自分たちで作り上げていくもの」です。全員が係の仕事を担っており、苦戦しながらも班員同士協力し合い、話し合いを進める姿が見られています。中には、放課後まで仕事をしている人や下校後に家で作業をしてから登校する人もおり、自分の役割を全うできるよう努力していることが伝わってきます。校外学習当日まで困難は続くと思いますが、より良い校外学習、そしてより良い修学旅行につなげられるよう頑張っていきましょう。

そして受験まで残り約1年となりました。実際に、受験に向けて頑張っている3年生を目の当たりにし、「あと1年で自分たちの番か…」といった声も聞こえてきます。毎日の授業、行事など一つひとつのことを大切にしながら生活ていきましょう。

3年生の様子から（西城有里加）

あっという間に12月になり、いよいよ受験までのカウントダウンが始まりました。これまでの進路学習を通して、皆さんはどれくらい自分の進みたい道について考えたでしょうか。

進路説明会では、様々な高校の情報を得ることができましたね。普通科から専門学科、高校の特色まで知ることで、自分に合った進路選択の重要性を感じたと思います。さらに、先日行われた校長面接は、事前に用意していた回答を深掘りすることで、自分のまだ見ぬ可能性と、本当の気持ちに触れる良い機会だったのではないかでしょうか。その他にも、自己PRカードを作成したり、日本語の授業で集団討論・小論文・面接について学習したり、入試のスケジュールについて確認したり。初めてのことばかりで不安や焦りを感じながらも、一人ひとりが「自分はどんな人なのか」「何をしたいのか」真剣に考えていた2学期でした。

受験までの時間は決して長くはありません。3年生にとっての冬休みは、「個」として気を引き締める大切な時期です。これまでの努力が確実に自分の力になっていることを信じて、前向きに過ごしてください。また、家族との時間も大切にしながら、心の余裕をもって新年を迎えましょう。みなさんの未来への道が確かなものになることを、学年一同願っています。

真剣に考えていた2学期

E組の様子から（細井俊吾）

今月のE組の様子を一言で表すと、「壁を越え始めた」だと思います。喜多見中の今年のスローガンである「自己実現の達成」～壁を越えて～、に対し日々の頑張りで答えてくれているように感じる場面が沢山ありました。面談期間を乗り越え、それぞれに新たな課題がでたと思うのですが、まず普段の授業の受け方や勉強の仕方が変わって来ています。英語を始め机に向かう教科も、体育のハンドボールや持久走、家庭科の調理実習1年総合の大根栽培、2年総合の校外学習準備、3年進路の受験準備など様々な場面で、粘り強くなったり感じています。また、そうした真剣さが伝わって来る間に、それぞれの個性を発揮しても良いのだという雰囲気や、それぞれの良さを自然に認め仲間と談笑する雰囲気が確かにあります。そういう姿を日々、目にするとたびに、きっと壁を乗り越え次のステップへと進んでいってくれるのだ信じています。



※E組の12月行事にご協力していただいた、警視庁白バイ訓練場の方々、砧浄水場の方々、喜多見中茶道部師事裏千家茶道の磯村先生、とても有意義で貴重な体験をありがとうございました。

今号は ALT の Colin 先生の授業紹介です。授業はもちろん、放課後の部活動や英検二次対策講座では面接官役も務めていただけたなど、気さくで心優しい Colin 先生。先日は、なぜか 3 年生の小論文対策講座にも参加して一緒に勉強する姿もありましたね！？ 積極的に声をかけてみよう！！



The LKC triangle: Language, Knowledge, and Culture, shapes the thinking behind my lessons.

Language is the most obvious part. If you don't have the words or phrases you need to express the things you want to say, you won't be able to say them. However, learning the language itself is not enough. This is where K: Knowledge comes in.

If you have no knowledge or understanding of a topic, you won't be able to talk about it well. For example, if you asked me to talk about electrical engineering, I wouldn't be able to. I don't know anything about it. I couldn't talk about it in any language, because I don't have the background knowledge.

Last but not least is C: Culture. Culture is like a pair of glasses that we see the world through. Put on a pair of pink-tinted glasses, and you will see the world in pink. Culture is the filter through which we see everything. When students say something in English, they say it with their own cultural understanding.

In my lessons, I like students to learn about and compare cultures and ways of thinking, understand the differences, and more importantly, the similarities.



今号の「わたしのきたみち」は 今年 3 月に卒業した、山下 ○○ 先輩からのメッセージです。担任だった小柴先生曰く、「運動会実行委員長をはじめ、特行事では常にリーダーとしてよく学級をまとめるなど、何事にも手を抜かない姿に感心しました」、とのこと。最後の一文が象徴的です！

こんにちは！喜多見中卒業生の山下です！私が喜多見中学校で過ごした三年間は、仲間と心をひとつにする大きさを学んだ時間でした。運動会実行委員長や ICT 委員長として活動する中で、責任の重さや、人と協力することの難しさ、そしてやりがいを知りました。特に印象に残っているのは合唱コンクールです。クラス全員の思いが一つになり、体育館いっぱいに響いた歌声は、今でも心に残っています。卒業式で歌った最後の合唱も、忘れられない大切な思い出です。

現在は都立国際高校に通っています。ダンス部に所属し、体育祭委員も務めています。校則が自由で、自分らしく過ごせる環境の中、毎日が本当に楽しすぎるほど充実しています。英語の勉強は想像以上に大変で、課題に追われる日々ですが、第二外国語（韓国語）の授業は新鮮でとても楽しいです。さらに、学校生活の中で日常的に英語を話す場面も多く、実践の中で少しづつ成長を実感しています。

在校生のみなさんには、今この瞬間の仲間との時間を大切にし、行事や日常の中でたくさん挑戦してほしいです。中学校での経験は、必ずこれからの自分を支える力になります。1 日 1 日を挑戦のある日々にしてください。



落ち葉はきボランティア 12月1,2日 喜多見二丁目団地自治会、13日 慶元寺 活躍しました！



落ち葉掃きボランティアを終えて、地域の風景が明るくなっただけでなく、生徒の姿勢の中にも変化を感じました。落ち葉を集めることはとても地道な作業ではあり、終わりが見えないように思える瞬間もあります。それでも、生徒たちは集中して、そして時には声を掛け合いながら協力し、最後までやり遂げてくれました。この行動力と意思から、地域を大切に思う気持ちがすごくあることを感じました。

生徒会として活動に携わる中で、全体として大きなトラブルもなく活動を終えることができたのは大きな成果でした。また、みんなの協力によって運営の努力の成果が出たことに、大きな達成感を感じています。

この落ち葉掃きボランティアの活動を通して、「誰かのために動くこと」「自分が環境をつくる一員であること」を感じた生徒も多かったのではないでしょうか。この小さな積み重ねが、生徒一人ひとりの自主性を育んでいくのだと思います。 (生徒会本部役員：脇田 ○○ さん (2B))

喜多見中伝統行事 大蔵大根大収穫！～郷土の誇り、地域に感謝～

今年も恒例の「大蔵大根収穫祭」を行いました。米粒の半分ほどの小さな種が、見事に大きく育ちました。8月の土づくりから、9月の種まき、間引き、虫取り、寒冷紗敷き、毎日の水やり、そして収穫、最後に畠仕舞いまで、大根リーダーを中心に1年生全員が文字通り手塩にかけて育て上げました。以前は学校周辺にもたくさんの農地がありました。ここ数年で一気に宅地化が進み、この経験も希少になりつつあるところ。大蔵大根は地域の誇り。毎年、子どもたちのために丁寧にご指導いただいている地域の永井様、そして、池田様親子に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。（※収穫した大根につきましては、各自家庭に持ち帰ったほか、名物大根カレーの給食にして全校で舌鼓を打ったり、一部は喜多見小学校におすそ分けさせていただいたりしました！）



大根作りは、二学期が始まる少し前の8月25日に大根リーダーとサブリーダー、先生達で草むしりから始まりました。学校が始まり、みんなで種まきをし、班で毎日順番に記録と水やりをして育てていきました。3日から5日で芽が出てきました。どんどん葉が成長して大きくなり、10月に間引きをしました。その後、どんどん大きくなっていき12月に収穫しました。少しづつ大根が大きくなっていくのを見ていると、食べるのがとても楽しみになりました。私は、収穫した大蔵大根をけんちん汁と豚汁、ふろふき大根にし、葉っぱはふりかけにしました。とてもふかふかして格別の美味しさでした。3人の農家さんに指導していただき、農家の仕事のすごさを知ることができました。どんな状況でも作物のためにお世話を続けることはとても大変だし、美味しい野菜を作るために愛情をかけていると感じました。私は、畠で野菜を作るのは初めてで、とても楽しく良い経験になりました。（大根サブリーダー：1B 滝本〇〇さん）

冬季休業中の緊急連絡等について

12月27日（土）から1月4日（日）は週休日および学校休業日です。この間、学校には日直の教員は勤務していません。また、警備員は常駐していますが、緊急連絡等は5日（月）以降にご連絡願います。なお、生命にかかる事故や事件（不審者遭遇等を含む）の際は、迷わず110番通報してください。ご協力をお願いします。

職員室直通ダイヤル：03-3417-4971（平日：8時15分から16時45分まで）

警備室直通ダイヤル：03-3417-4972（12月27日から1月4日以外の緊急時）

「診断書」は要りません

インフルエンザ等、特定の感染症では、「出席停止」となり「欠席」の扱いにはなりません。また、病気が治り登校したら、「出席停止解除願」を提出してください。用紙は、学校ホームページからダウンロードできるほか、保健室でもお渡しできます。その際、医師の診断書は必要ありませんので、ご注意ください。

1月の予定から

- 1月 8日（木）始業式
※種々の催事をご参観ください！
16日（金）2年生 校外学習（班行動による都内巡り）
19日（月）生徒会朝礼
21日（水）学校運営委員会
22日（木）1年生百人一首大会⑤⑥（13時35分開始 体育館）
23日（金）学校保健委員会「メガネのZoff 出張授業」
午後2時35分から3時25分まで 於：体育館
第3回英語検定（喜多見小・中計56名が挑戦！）
26日（月）都立高校推薦入試（～27日、発表2月2日）
区教職員研修につき午前授業（給食後に下校）
29日（木）きたみ人権デー
30日（金）学習成果展覧会準備につき⑥カット

新年1月8日（木）始業式 当日について

- 【登校】通常登校（8時25分までに登校）標準服登校です！
【持ち物】通知表、上履き、宿題等 ※学年だより等を参照
【下校】12時10分頃の予定です。（給食なし）

1月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372